

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	深川市	ムム地区	平成27年度	平成29年度	深川市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
① 経営面積の拡大	2	2	3	100.0%
	2	2		
② 農業の6次産業化				
③ 農産物の高付加価値化	1	2	2	50.0%
	1	1		
④ 経営コストの縮減	0	1	1	100.0%
	0	1		
⑤ 耕作放棄地の解消				
⑥ 農業経営の複合化				
⑦ 農業経営の法人化				
⑧ 雇用				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等	
				1年度目	2年度目	目標年度(3年度目)			
1	1	経営規模の拡大	26.6ha	37.5ha 38.6ha	37.5ha 42.8ha	37.5ha	148.6%	農家台帳	
		経営コストの削減	113万円/ha	113万円/ha 95万円	112万円/ha 97万円	111万円/ha	1600.0%	青色決算申告書	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	79,229	79,200 81,786	79,200 76,203	79,200	-	〃
		生産コスト(円/10a)	25,914	25,900 23,422	25,900 23,885	25,900	-	〃	
		経営コスト(円/10a)	113,164	113,000 94,593	113,000 97,007	113,000	-	〃	
2	2	経営規模の拡大	9.2ha	9.2ha 13.8ha	11.7ha 13.8ha	11.7ha	184.0%	農家台帳	
		農産物の高付加価値化	一等米比率 39%	50.0% 89.0%	60.0% 100.0%	70.0%	290.5%	JA出荷データ	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	94,068	95,000 104,804	95,000 114,141	95,000	-	青色決算申告書
		生産コスト(円/10a)	24,173	24,000 21,095	24,000 22,791	24,000	-	〃	
		経営コスト(円/10a)	128,910	128,000 118,610	128,000 83,071	128,000	-	〃	
3	3	経営規模の拡大	17.9ha	17.9ha 17.8ha	17.9ha 17.8ha	18.2ha	0.0%	農家台帳	
		農産物の高付加価値化	一等米比率 60.8%	60.8% 60.0%	65.0% 72.5%	70.0%	-1150.0%	JA出荷データ	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	100,927	100,900 100,204	101,000 99,635	102,000	-	青色決算申告書
		生産コスト(円/10a)	14,709	14,700 14,920	14,600 15,884	14,500	-	〃	
		経営コスト(円/10a)	74,617	74,600 73,836	74,500 60,222	74,400	-	〃	

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

2年度目は、地区の成果目標「経営面積の拡大」「経営コストの削減」を目標達成したが、「農産物の高付加価値化(50%)」については、6月上旬から7月上旬の低温寡少については浸水対策等の徹底により障害回避に努めたが、8月以降の3回に及ぶ台風上陸により、日照不足及び登熟後期の高温等による登熟不良で、白未熟粒が発生し品質が低下したため目標達成できなかった。3年度目以降、成果目標の確実な達成を図るため、引き続き必要に応じ関係機関と連携し、指導・助言等フォローアップを行い目標達成を図る。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	深川市	一巳地区	平成27年度	平成29年度	深川市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
① 経営面積の拡大	0	1	5	200.0%
	0	2		
② 農業の6次産業化				

目標	③ 農産物の高付加価値化	1	4	4	25.0%
	④ 経営コストの縮減	1	1		
選択目標	⑤ 耕作放棄地の解消				
	⑥ 農業経営の複合化	0	0	1	-
	⑦ 農業経営の法人化	0	0		
	⑧ 雇用				

## II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等	
				1年度目	2年度目	目標年度(3年度目)			
1	1	経営規模の拡大	31.0ha	31.0ha	31.0ha	31.5ha	-	農家台帳及び 共済耕地図	
		農作物の高付加価値化	それ2等 18.9%	0	0	0	1329.5%	JA出荷データ	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	29,190	29,190	29,190	29,190	-	〃
			生産コスト(円/10a)	9,789	9,789	9,789	9,789	-	〃
			経営コスト(円/10a)	59,176	59,176	59,176	59,176	-	〃
2	2	経営規模の拡大	28.1ha	28.1ha	28.1ha	28.6ha	皆	農家台帳及び 共済耕地図	
		農作物の高付加価値化	一等米比率 65.7%	1	0	1	-648.8%	JA出荷データ	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	71,596	71,596	71,596	72,000	-	〃
			生産コスト(円/10a)	16,064	16,064	16,064	16,000	-	〃
			経営コスト(円/10a)	69,136	69,136	69,136	69,000	-	〃
3	3	経営規模の拡大	36.7ha	36.7ha	36.7ha	37.0ha	皆	農家台帳及び 共済耕地図	
		農作物の高付加価値化	一等米比率 55.9%	1	0	1	-1263.4%	JA出荷データ	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	59,502	59,502	59,502	60,000	-	〃
			生産コスト(円/10a)	8,501	8,501	8,501	8,000	-	〃
			経営コスト(円/10a)	39,042	39,042	39,042	39,000	-	〃
4	4	経営規模の拡大	27.2ha	27.2ha	27.2ha	27.7ha	-	農家台帳及び 共済耕地図	
		農作物の高付加価値化	水稲 14.0ha 小麦 9.4ha 大豆 1.5ha そば 2.3ha	水稲 14.0ha 小麦 9.4ha 大豆 1.5ha そば 2.3ha	水稲 14.0ha 小麦 9.4ha 大豆 1.5ha そば 2.3ha	水稲 14.0ha 小麦 9.4ha 大豆 1.5ha そば 2.3ha 花卉 0.1ha	0.0%	共済耕地図	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	58,170	58,170	58,170	59,000	-	〃
			生産コスト(円/10a)	13,097	13,097	13,097	13,000	-	〃
			経営コスト(円/10a)	56,194	56,194	56,194	56,000	-	〃
5	5	経営規模の拡大	14.6ha	14.6ha	14.6ha	25.6ha	0.0%	農家台帳及び 共済耕地図	
		農産物の高付加価値化	一等米比率 73.5%	1	0	1	-4900.0%	JA出荷データ	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	90,200	90,200	90,200	91,000	-	〃
			生産コスト(円/10a)	17,615	17,615	17,615	17,000	-	〃
			経営コスト(円/10a)	82,648	82,648	82,648	82,000	-	〃

## III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

2年度目は、地区の成果目標「経営面積の拡大(200%)」を目標達成したが「農産物の高付加価値化(25%)」については、6月上旬から7月上旬の低温寒少については浸水対策等の徹底により障害回避に努めたが、8月以降の3回に及ぶ台風上陸により、日照不足及び登熟後期の高温等による登熟不良で、白未熟粒が発生し品質が低下したため目標達成できなかった。  
3年度目以降、成果目標の確実な達成を図るため、引き続き必要に応じ関係機関と連携し、指導・助言等フォローアップを行い目標達成を図る。

別紙様式第1-10号

## 経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	深川市	納内地区	平成27年度	平成29年度	深川市

## I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
① 経営面積の拡大	1	2	2	0.0%
	1	0		
② 農業の6次産業化				

目標	③ 農産物の高付加価値化				
	④ 経営コストの削減	1	2	2	100.0%
選択目標	⑤ 耕作放棄地の解消				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 農業経営の法人化				
	⑧ 雇用				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1	1	経営規模の拡大	38.3ha	40.3ha 41.2ha	42.3ha 38.5ha	42.3ha	5.0%	農家台帳	
		経営コストの削減	75千円/10a	74千円/10a 73170円/10a	73千円/10a 65449円/10a	73千円/10a	477.6%	青色申告決算書	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	81,000	81,000 90,657	81,000 108,745	81,000	-	//
			生産コスト(円/10a)	19,400	19,400 17,919	19,400 18,752	19,400	-	//
			経営コスト(円/10a)	75,000	74,000 73,170	73,000 65,449	73,000	-	//
2	2	経営規模の拡大	21.2ha	21.2ha 21.2ha	23.2ha 22.2ha	23.2ha	50.0%	農家台帳	
		経営コストの削減	101千円/10a	101千円/10a 98千円/10a	100千円/10a 95千円/10a	99千円/10a	600.0%	青色申告決算書	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	94,133	94,133 94,133	95,000 108,812	95,000	-	//
			生産コスト(円/10a)	19,836	19,836 19,836	19,000 24,683	19,000	-	//
			経営コスト(円/10a)	82,634	82,634 82,634	82,000 98,509	82,000	-	//

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

2年度目は、地区の成果目標「経営コストの削減」を目標達成したが、「経営面積の拡大(0%)」については、目標達成のため土地の利用・集積を希望しているが、地区営農組合等で協議の中で、対象経営体の賃貸や売買に至らず、また離農や経営縮小見込み者の営農継続等の要因が重なり、目標達成できなかった。  
3年度目以降、成果目標の確実な達成を図るため、引き続き必要に応じ関係機関と連携し、指導・助言等フォローアップを行い目標達成を図る。

別紙様式第1-10号

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	深川市	多度志地区	平成27年度	平成29年度	深川市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
必須目標	① 経営面積の拡大				
	② 農業の6次産業化				
	③ 農産物の高付加価値化	1 0	1 0	1	0.0%
	④ 経営コストの削減	1 1	1 1	1	100.0%
選択目標	⑤ 耕作放棄地の解消				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 農業経営の法人化				
	⑧ 雇用				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1	1	農産物の高付加価値化	1等米比率 63.5%	65.0% 0.0%	68.0% 0.0%	70.0%	0.0%	JA出荷データ	
		経営コストの削減	82,657円/ 10a	82千円/10a 74,409	82千円/10a 72,670	82千円/10a	1520.1%	青色申告決算書	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)	57,857	58,000 64,454	58,000 38,892	58,000	-	青色申告決算書
			生産コスト(円/10a)	15,502	15,502 16,723	15,502 16,359	15,502	-	青色申告決算書
			経営コスト(円/10a)	82,657	82,000 74,409	82,000 72,670	82,000	-	青色申告決算書

### Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

2年度目は、地区の成果目標「経営コストの削減」を目標達成したが、「農産物の高付加価値化(0%)」については、6月上旬から7月上旬の低温寡少については浸水対策等の徹底により障害回避に努めたが、8月以降の3回に及ぶ台風上陸により、日照不足及び登熟後期の高温等による登熟不良で、白未熟粒が発生し品質が低下したため目標達成できなかった。

3年度目以降、成果目標の確実な達成を図るため、引き続き必要に応じ関係機関と連携し、指導・助言等フォローアップを行い目標達成を図る。